




各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和6年2月のHP きごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  メタバースで建物検査 清水建設、労働年 60 時間減
- (2)  ゼネコン、ビル建設省力化 人手不足・残業規制に対応
- (3)  大阪府、9年連続転入超 去年の人口移動

(1) メタバースで建物検査 清水建設、労働年 60 時間減

- * 清水建設はメタバース（仮想空間）上で実際の建物を検査する取り組みを開始。
- * 完成した建物を 3D（3次元）モデルで再現し、設計データとずれがないか確認。
- * 設計担当者の労働時間を年間 60 時間減らします。
(2024年1月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) ゼネコン、ビル建設省力化

人手不足・残業規制に対応

清水建設 3D プリンターで柱製造

大林組 高所の作業をロボが代替

- * 清水建設は 3D プリンターを使い、ビルの柱や梁を建設現場で製造する技術を開発。
- * 従来手法に比べて作業時間を 7 分の 1 に短縮。
- * まず、鉄筋を格子状に組みます。その外側から 3D プリンターでモルタル材料を吹き付けます。
- * ロボットアームがスピードを自動調節し、隙間のない柱を製造します。
- * 型枠工事や吹き付け工事などに従事する建設技能者は 2022 年に 305 万人と、過去 10 年で 9% 減少。
- * 大林組は耐火被覆材の人口繊維「ロックウール」をビルの梁に吹き付けるロボットを開発。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *建設業界では労務費が上昇。
- *東京都内の型枠工事の場合、公共工事の設計労務単価は2023年3月に27,500円と、過去10年で36%上昇。
- *世界の建設ロボットの市場規模は、2029年までに2024年の2倍に拡大する見通し。
- *2021年には、施工ロボットや遠隔操作技術などの共有を掲げるコンソーシアム（企業連合）が発足。
(2024年1月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 大阪府、9年連続転入超 昨年的人口移動

関西全体は転出超過

- *2023年、大阪府は9年連続で転入者が転出者より多い転入超過となりました。
- *関西2府4県では2670人の転出超過。
- *大阪圏（大阪、兵庫、京都、奈良）の日本人だけでみると、11年ぶりの転入超過。
- *大阪府は2022年に比べ4253人多い10,792人の転入超過。
- *大阪市は10年連続で転入超過。
- *東京23区に次ぐ2番目の人口流入。
(2024年1月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

